



発行所  
大日本武徳会  
〒606-8393  
京都市左京区東竹屋町62-2  
☎(075)761-1560番  
<http://butokukai-honbu.org/>



第50回全国武徳祭 並びに 第4回世界武徳祭  
平安神宮祈願 奉納演武



居合道  
範士九段 久保田 皎

# 大日本武徳会

## 第50回全国武徳祭 第4回世界武徳祭

範士 桑原兵充

大日本武徳会 第50回全国武徳祭・第4回世界武徳祭は厳粛盛大に開催されました。  
捲土重来・幾星霜築き迎えた50周年の慶祝・偉大な歴史 ご同慶の至りと感慨無量。

平成24年（2012年）4月29日日曜 晴天

50周年の軌跡、第二世界大戦後誤った見識により日本武道の壊滅を計る外圧政治波乱万丈の風雪に耐えて、伝統を守り武徳和魂の崇高な武道精神を継承日本伝統各種武術を守り培ってこられた、先達尊師の軌跡に想いを馳せて其の功績懿徳を忍び讃えて、内外会員23国の皆様方のご賛同を頂き、大いなる式典が開催されました。

### ここから始まる

日本武道・武徳会の発展60周年に向かって、会員一同依り絆を固め相和し切磋琢磨大いなる飛躍をもとめて、ここから始まる一歩一歩が着実に前へ実践の、単位は今日一日何事も現実から逃避せずに受けて立つ心構えで一つの事を一貫継続する事は不可能と思っていた事、自分には無理と思っていた事をも可能にするだけの力を持っている。

しかし継続出来るか否かはつきつめれば、ここから始まる今日一日の自らの実践にかかっている、武道と武術の相違を確りと認識、理想は高く実践は足下からあらためてここから始まる意義の深さを嘯み締めたい、武術の技量は大同小異ですが、武道との教義は根底から相違する、己を律する修行が武道であり武徳に通じます、そして平和を希求する心は世界に共通致します。

### 感謝状

平成24年5月1日午前2時頃、中村元哉・ジェフウィリアムズ両氏がアメリカ合衆国に帰国迫る中、京都市内に於いて水路に転落した女性を発見、適切な応急手当を施し速やかに救急車を手配して人命救助に当たりましたこの行為は、大日本武徳会の武道家としてまた一市民として、誇りとするところです。其の冷静かつ迅速な判断力及び献身的な行動に敬意を表して本会より感謝状を授与することに致しました。

平成24年5月26日

大日本武徳会 理事長 桑原兵充

# 五十年後の礎を

大日本武徳会副理事長 中田 武太

戦前を含めると一一七年の歴史を数えますが、大日本武徳会創立五十周年記念武徳祭並びに第四回世界武徳祭が四月二十八日・二十九日の両日盛大に挙行されました。

今回の大会は五十回という節目の記念大会ですから、第四回の世界大会も組み入れて大々的な記念大会にしようとする常任理事会で決め数年前から準備をして参りました。国内外の会員諸氏や関係者のお蔭をもちまして大成功裡に終えることが出来ましたことに常任理事会の委員の一人として厚くお礼を申し上げます。

植樹式、石碑・銘板の除幕式、開会式、前夜祭、平安神宮祈願祭、本大会等や、二十八日・二十九日の本大会の前後を挟んで行われた国際支部の講習会と練成大会、懇親パーティ等はそれぞれ記念大会に相応しい意義深く印象深いものであったことに言を俟ちません。

しかし、遠く外国の二十二か国からやってきた三百五十人の国際支部の会員諸氏と、国内の二百五十人の参加会員諸氏が心から満足を得た記念大会だったろうかを反省してみた時、課題がいく

つか見えて来て忸怩たる思いにかられます。この課題を解決してこそ次の大会、そして武徳会の将来の発展に繋がる鍵ではないかと思ひ私なりに問題を提起致します。

一、日本側（本部役員を含めて）は外国人に対し心からの対応が出来たか。

二、武徳殿での本大会の他の行事に対して日本側の参加が十分だったか。

三、外国人に対して武道者としての礼節を範で示せたか。

四、本大会が節目の記念大会であることに特別意識を持つて臨んだか。

五、本部の大会運営は十分に果たせたと思うか。

六、大会ルールを熟知してしっかりと遵守できたか。

七、各行事の運営上の改革点は何か。

八、武徳会の未来的展望について意見は何か。

九、その他

次の五十年の礎を築くために、来年の第五十一回武徳祭から改革すべきところは改革して実践しなければなりません。そのためには先ず何をすべきか、最優先課題は何か。先生方の忌憚のない率直なお考えを聞かせて頂きたいと思ひます。是非本部までご意見をお寄せ下さい。



## 『人命救助』

高田 寛次

大日本武徳会の歴史、世紀の大会が植樹式に始まり、第五十回全国武徳祭・第四回世界武徳祭が理事長陣頭指揮の下、諸先生方の絶大なご支援並びにご指導を賜り盛大に開催されました。

長きに亘る計画・運営方法と度重なる会議が実を結び、過ぎてみれば懐かしい思いが交差し大日本武徳会歴史的一幕を演出した。思いと、世紀の大会（行事）に立会えた感動と歓びを誇りに思う。翌日、国際部の武道演武大会を最後に全ての行事が終わりました。

本記念大会に参加した国際部の選手達は、帰国の途に就く準備等に専念しているなか、国際部アメリカ支部の最終反省会を済ませた中村元哉・ジェフ・ウィリアムズ両君は、五月一日午前二時十五分頃、定宿していた「平安の森ホテル」からウエスティンホテルに赴き、国際部の参加者が投稿した「俳句集を回収すべく、「平安の森」をタクシーにて出発した直近、タクシーが交差点で停止したその時、ウィリアムズ君が車内から前方右手に人影を発見した。その人影はふらつき乍ら数歩歩み、突然頭部より逆さま

に川底に転落したのを目撃し、停車中のタクシーを二人で降りて転落した人影を確認し、約三メートル下の川に入り頭部を川底にして倒れている女性を発見した。

急遽中村は、タクシー運転手に連絡の上救急車の手配を依頼し、その間ウィリアムズは女性の容態を検証、頭部から相当の出血があり、自らの背広上着を脱ぎ出血の傷口を押えて手当を施し中村と協力し女性を道路上に移動した、精神的な動揺が窺えたので「大丈夫です」と勇気付けた。その時女性から強いアルコールの臭気を感じた。

念のため「名前は」と聞くと、弱々しく「TCHOI」と答えた。十数分後救急車が到着し、女性は隊員三名から応急処置が施された、ウィリアムズは事故の経緯を隊員に伝えたが、念のため警察に届ける必要があると説明されたが、ウィリアムズ・中村には残された時間が無くその場は救急隊員に任せることにした。

救急隊員から「君達は彼女の命の恩人」であると言われた。我々は武道家であつて当然のことをしただけであり、武道の残心が我々の冷静な行動を支えてくれました、彼女の回復を祈ります、人命救助にお役に立てて光栄です。と謙虚な状況報告を送ってくれました。

五月二日午前十時三十分、濱田先生より「ウィリアムズと中村元哉」が、とある場所で川に転落した女性を救助した事実の電話連絡を受け、人命救助の美談であり大日本武徳会として何等かの賞詞に値すると判断し、即、京都市右京消防署警防課に赴き、場所は不明であるが、五月一日午前二時十五分頃その時間帯に消防署の救急車が出動した事実の確認を依頼したが、場所が不明であ

# 全国武徳祭50周年記念植樹 モニュメント寄贈者への御礼

全国武徳祭記念植樹モニュメント企画に対して、多くの皆様にご賛同いただき、お陰様で京都市武道センター内に桜の植樹と立派な記念モニュメント、寄贈者リストのブロンズ銘板を設置することが出来ましたのも、皆様のご支援とご厚情によるものと深く感謝申し上げます。

植樹された桜が毎年々大きく育っていくことが大会ごとの楽しみとなります。そして大日本武徳会が更に更に発展いたしますことを願いまして、皆々方に改めて厚くお礼申し上げます。



## 第五十回全国武徳祭記念植樹寄付者名

顧問

石川県

大阪府

理事長

安達 學  
辻野 正勝  
三浦武之秀房

副理事長

桑原 兵充  
中田 武太

専務理事

濱田 鉄心

常任理事

高田 寛次

監事

車地善光 茂秀  
中森 茂範  
目黒 信良  
木下 公子  
竹田 豊  
小林 信之

理事(都道府県順)

前田 義行  
西村 剣舟  
市村 虎伯  
岩井 虎伯  
杉野 至昇  
長田 順一  
成田 義彦  
渡辺 義典  
久保田 文典  
山田 宗慶  
道観 正巳  
藤井 一藏  
森内 雅人  
村田 天勇  
瀬戸 勇俊  
森崎 龍行  
川村 八朗  
北野 吉隆  
安達 正純  
岡崎 正清  
岡崎 正清  
又吉 照代  
津守 恭子

長野県

岩井 虎伯  
杉野 至昇  
長田 順一  
成田 義彦  
渡辺 義典  
久保田 文典  
山田 宗慶  
道観 正巳  
藤井 一藏  
森内 雅人  
村田 天勇  
瀬戸 勇俊  
森崎 龍行  
川村 八朗  
北野 吉隆  
安達 正純  
岡崎 正清  
岡崎 正清  
又吉 照代  
津守 恭子

会費寄附者

久世 恭子

愛知県

久世 恭子

名城大学体育会居合道部

久世 恭子

愛知県

久世 恭子

会費寄附者

久世 恭子

愛知県

久世 恭子

会費寄附者

久世 恭子

福島県

久世 恭子

会費寄附者

石川県

久世 恭子

会費寄附者

石川県

久世 恭子

会費寄附者

石川県

久世 恭子

会費寄附者

石川県

久世 恭子

会費寄附者

石川県

久世 恭子

会費寄附者

石川県

久世 恭子

会費寄附者

石川県

久世 恭子

会費寄附者

石川県

久世 恭子

会費寄附者

石川県

久世 恭子

会費寄附者

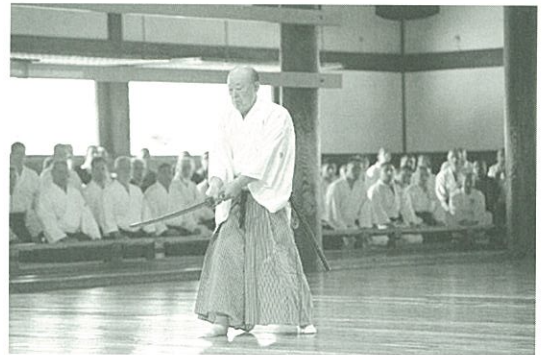
石川県

久世 恭子



- |   |  |  |   |   |   |   |
|---|--|--|---|---|---|---|
| <p>東京府<br/>会員賛同者<br/>矢吹 之彦<br/>岩田 一政<br/>小西 絢子<br/>有澤 寛昭<br/>新潟県<br/>会員賛同者<br/>神奈川県<br/>会員賛同者<br/>新島県<br/>会員賛同者<br/>風巻 善昭</p> | <p>東京府<br/>会員賛同者<br/>山口 博<br/>大門 君道<br/>児玉 博<br/>津吹 憲一<br/>小野 忠男<br/>小根山 勇<br/>福田 正信<br/>齊藤 邦治<br/>柳田 勝則<br/>東京府<br/>会員賛同者<br/>森下 利徳<br/>田中 泰一</p> | <p>埼玉県<br/>会員賛同者<br/>細井 昇<br/>大塚 照夫<br/>角谷 悟<br/>高見 澤久夫<br/>細井 徹<br/>埼玉県<br/>会員賛同者<br/>振武館白岡道場<br/>村上 祐尊</p> | <p>群馬県<br/>会員賛同者<br/>村上 祐尊<br/>群馬県<br/>会員賛同者<br/>相澤 正二<br/>森永 圭一<br/>津久井 里恵<br/>塚目 早苗<br/>伊藤美和子<br/>紫野 正尊<br/>梶原 烈聖<br/>浅岡 千香<br/>山名 君恵<br/>前田 博之<br/>小磯 行生<br/>飯岡弘之助<br/>市村 みづ子<br/>伊藤 正樹<br/>安藤 肇<br/>石川 真澄<br/>主谷 忠利<br/>三上 澄<br/>市村 剣舟<br/>市村道場<br/>茨城県<br/>会員賛同者<br/>陽武館<br/>太田 豊秋</p> | <p>福島県<br/>会員賛同者<br/>太田 豊秋<br/>美野 清孝<br/>國分 淳一<br/>佐藤吉三郎<br/>佐藤 正典<br/>福島県<br/>会員賛同者<br/>茨城県<br/>会員賛同者<br/>陽武館<br/>市村道場<br/>市村 剣舟<br/>三上 澄<br/>主谷 忠利<br/>石川 真澄<br/>伊藤 正樹<br/>安藤 肇<br/>市村 みづ子<br/>飯岡弘之助<br/>小磯 行生<br/>前田 博之<br/>山名 君恵<br/>梶原 烈聖<br/>紫野 正尊<br/>伊藤美和子<br/>塚目 早苗<br/>津久井 里恵<br/>森永 圭一<br/>相澤 正二<br/>群馬県<br/>会員賛同者<br/>村上 祐尊</p> | <p>京都府<br/>一心無双流居合兵法<br/>住田 正之<br/>鈴木 雅博<br/>小山 洋平<br/>小山 晃<br/>佐藤 達也<br/>横山 昇<br/>近藤 嘉乙<br/>成田 広<br/>京都府<br/>直伝門心流居合道<br/>林山 満彦<br/>久保田 敏<br/>酒井 善宣<br/>石川 尚東<br/>西村 宏吉<br/>豊田 存子<br/>一色 克巳<br/>松村 則夫<br/>木下 賢一<br/>田畔 徳一<br/>廣田 政夫<br/>廣田 健介<br/>日本武道空手協会<br/>道親 世宗慶<br/>大沼州彦宗龍<br/>花元 浄一宗虎<br/>上村 雅彦宗誠<br/>齋木 泰徳宗潤<br/>佐藤 哲治宗琉<br/>松村 哲人宗忠<br/>安藤 貞男宗宗<br/>竹花 哲也宗管<br/>成田 博樹宗真<br/>大石 大志宗和<br/>京都府<br/>會員賛同者<br/>大藪美代子<br/>田中 清之<br/>足立 泰一<br/>大阪府<br/>武徳和魂心伝流柔術<br/>桑原 兵充<br/>小西 修平<br/>北野 隆幸<br/>高島 仲雄<br/>野村 裕功<br/>森崎 龍行<br/>前田 親男<br/>神山 俊哉</p> | <p>大誠会<br/>村田 雅人<br/>古武術英湾会<br/>吉野 成泰<br/>引刀 鍊心館道場<br/>北川 昭茂<br/>渡邊 則國<br/>浦上 宏祐<br/>藤井 宏智<br/>能智 祐輔<br/>井上 良幸<br/>東郷 武憲<br/>大西 誠大<br/>本山 弘造<br/>伊藤 壽彦<br/>宮田 天流<br/>古傳骨法律傳源流天心流考會<br/>田中 秀心<br/>平野 天心<br/>森田 正秀<br/>川村 孝義<br/>兵庫県<br/>會員賛同者<br/>井本 敏弘<br/>心月無想柳流柔術 甲武館<br/>川村 八朗<br/>竹田 豊<br/>松浦 真一郎<br/>村 健二<br/>樋口 克史<br/>石本 一平<br/>長谷川 幸男<br/>齊藤 博彦<br/>西倉 愛子<br/>竹田 榮二<br/>兵庫県<br/>會員賛同者<br/>倉益 榮二<br/>貫心流居合術<br/>福原 吉隆<br/>岡山県<br/>會員賛同者<br/>安達 憲彦<br/>香川県<br/>會員賛同者<br/>吉野 晴雄<br/>山崎 展照<br/>愛媛県<br/>會員賛同者<br/>恩田 晃大<br/>安藤 正彦<br/>愛媛県<br/>支那部<br/>森中 正勝<br/>竹本 寛<br/>福岡県<br/>會員賛同者<br/>内藤 博之<br/>熊井 和彦<br/>長崎県<br/>會員賛同者<br/>吉田 正人<br/>大分県<br/>會員賛同者<br/>後藤 高武<br/>宮崎県<br/>會員賛同者<br/>河野 敬司</p> |
|---|--|--|---|---|---|---|

# 大会演武





# 支部だより

## 平成二十三年度

### 大日本武徳会

#### 大阪府支部

### 住吉大社奉納演武大会

#### 開催さる

村田 雅人

大日本武徳会大阪府支部住吉大社奉納演武大会が平成二十四年三月二十五日(日)に開催されました。早朝、住吉大社神楽殿において演武の無事遂行を祈願し、前理事長辻野正勝先生、理事長桑原兵充先生、神田派虚心流宗家神田穂風先生により玉串奉納がなされました。また、清教学園の田中俊嗣先生ならびに同剣道部員も同席し、特に、生徒達

にとつては初めての経験で大変感銘を受けた様子でございました。その後、境内の住吉武道館剣道場にて住吉大社奉納演武大会を開催致しました。今回は清教学園剣道大会と併設とし参加者総数三十六名(一般参加二十名、高校生八名、小学生八名)を数え、従来にも増して盛会となりました。道場には国旗と住吉大神の書軸が中央に掲げられ、祭神如神在、誠に神々しい雰囲気の中、まず、支部長村田雅人の開会の挨拶に始まり、国旗に礼、君が代斉唱、住吉大神軸に礼を行い、改めて演武の無事遂行を祈願致しました。次に、大日本武徳会本部より来賓としてご臨席を賜りました桑原兵充先生の心のもったご祝辞を賜り、辻野正勝先生におかれま

ではご祝辞に加え、大正天皇御製の漢詩を吟じられ華を添えて頂きました。神田穂風先生には暖かいお励ましのご祝辞を頂き、また、今回は、常日頃よりお世話になっております住吉武道館館長森政暉先生を来賓にお迎え

し、心のこもったご祝辞を賜りました。演武大会の皮切に僭越ながら小生の英信流居合、祓い、悪魔祓いの儀を以て四方を浄め、続いて、清教学園の選手による優勝決定戦が行われました。気迫、



清教学園選手との集合写真



和魂会少年部との集合写真